



同志社大学

京都 日本

Spread the wings of your imagination and step outward

★ 京都

交換留学案内 2025▶2026

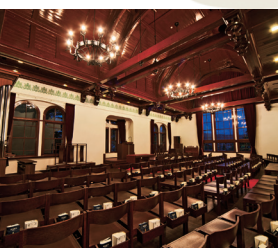
同志社大学への招待状

千年の都、京都で「志」を育む

京都 は日本のどこにあるの？

京都は、日本列島のほぼ中心に位置しています（東京から西へ500km）。大阪府・兵庫県・奈良県・滋賀県・福井県・三重県と隣接し、大阪・神戸と共に、日本第二の都市圏を形成しています。

794年に京都は日本の首都に定められ、東京が首都になるまでの約1080年間、日本の政治の中心であり、歴史・文化の中心でした。このように歴史的な都である京都は、日本文化の中心地といっても過言ではないでしょう。古い史跡や町並み、文化などが数多く存在することから、日本で有数の観光都市・国際観光文化都市として知られ、国内外から多くの旅行者が訪れます。また、京都は伝統的な都市という魅力だけでなく、先端技術を持つ企業をはじめ、業界トップクラスの企業が集まるなど、現在の日本の産業を支えている地域の一つでもあります。



同志社大学のご紹介

同志社大学は、日本人として初めて欧米の高等教育機関（アーモスト大学）から学位を取得した国際人として知られる新島襄により、1875年に同志社英学校として創立された、日本でもっとも古い歴史と伝統を誇る私立大学のひとつです。

京都市中心部、京都御所の北側に位置し、由緒ある相国寺に隣接した今出川キャンパスは同志社大学発祥の地であり、147年に渡る歴史そのものと言えます。同キャンパスには、5つの国の重要文化財、2つの登録有形文化財に指定された建物があり、現在も授業や礼拝等で学生が使用しています。一方、京都府南部に位置する京田辺キャンパスは79万㎡を誇る広大な敷地に、最先端の研究施設や設備を有するキャンパスです。

伝統と清新さを併せ持つキャンパスで、同志社大学は、キリスト教主義、自由主義、国際主義の3つの柱からなる良心教育を原点におき、教育・研究を行っています。

2024年時点で、14学部・16研究科および国際教育インスティテュート、国際教養教育院を有する総合大学であり、学生約29,000名、留学生約1,400名（新型コロナウイルス感染拡大前は約2,300名）が世界各地・世界各国から集い、国際交流の和を広げています。

<https://www.doshisha.ac.jp/>



同志社大学への留学にご関心をお持ちの皆様へ

同志社大学にご関心をお持ちいただき、大変嬉しく思います。同志社大学は、今回で紹介するグローバル教育プログラムと日本語・日本文化教育プログラムを提供する国際教養教育院に加えて、14学部16研究科1インスティテュートから成る総合大学で、例年、約29,000名の学生が学んでおり、世界中から1,400名の外国人留学生が集っています。

あなたも同志社大学で学んでみませんか。

1875年に創立された同志社大学は、アジアでもっとも長い歴史を持つ大学の一つです。同志社大学の所在地は、日本を代表する国際文化都市である京都ですので、大学のまわりには、数多くの歴史的建造物が立ち並ぶとともに、日本の伝統的行事に触れる機会も多いと言えます。日本国内であっても他地域では既に見ることが難しい伝統的な和 문화が色濃く残っていますので、外国人留学生にとって、とても魅力的な環境であることは間違いありません。外国人留学生向け日本語・日本文化教育プログラムも充実しており、英語だけで学べる科目もたくさんあります。もちろん、外国人留学生の支援も万全です。同志社大学の美しいキャンパスの中で、あなたが素晴らしい大学生活をお過ごしになることを楽しみにしています。

国際連携推進機構長
木原 活信



■ グローバル教育プログラム Global Education Module (GEM)

日本の文化・社会・自然の講義を英語で提供します



1. 出願資格

「第一言語が英語の外国人留学生」または「英語で行われる授業を理解できる英語能力が高い外国人留学生」を対象とします。第一言語が英語でない外国人留学生がGEMに参加するには、英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) のB2相当以上の能力の証明が必要です。

2. 提供科目

科目リスト&シラバス https://intad.doshisha.ac.jp/intad/exchange/cge_curriculum.html

GEMでは、世界における日本をより理解することを目的とした、人文科学から社会科学、自然、人間科学までの幅広い学問分野の科目と日本文化、伝統に関する科目を、英語で提供します。

GEMで行われる授業は、交換留学生と同志社大学の学生が少人数編成のクラスで、グループワークやディカッション中心の対話型授業でともに学ぶことにより、異なる価値観やものの見方を相互に学ぶことができます。

英語圏出身またはネイティブレベル相当の英語能力がある学生は、国際教育インスティテュート(ILA)が提供する科目についても、審査の上、履修することができます。(3科目まで)

ILAの授業は、ネイティブレベルの英語で行われ、主に日本文化や社会に特化した内容です。ただし、多くのILA科目は受講者数に制限があるため、希望に添えない場合もあります。

GEM生は、日本語能力に応じて日本語・日本文化教育プログラム(Nichibun)が提供する科目も一部履修することができます(3科目まで)。履修にあたっては、必ず日本語プレースメントテストを受ける必要があります。日本語科目は、基礎、初級前期(Ⅰ)～超上級(Ⅸ)のレベルに分かれて編成されており、日本語能力に応じて学習することができます。「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく育成します。

日本語プレースメントテストで十分な日本語能力があると判断された場合は、各学部(※1)で開講されている科目を履修することができます。ただし、日本語の学習段階により履修できる科目は異なります。また、演習科目、理工学部科目、生命医科学部科目、他学部生履修不可の科目等は履修することができません。各学部で開講されている科目は、Nichibunが提供する科目とあわせて3科目まで履修できます。

(※1) 在籍大学で研究科に所属する大学院生に限り、研究科で開講されている科目の一部を履修することができます。

3. 単位

このプログラムの単位数の基準は、1週2時間、15週をもって2単位(日本語科目は除く)とします。

GEM生は、1年間で30単位(1学期間で15単位)まで履修することができます。Nichibun科目およびILA科目の単位もこの中に含まれます。

また、週に最低7コマ以上(1コマ=90分)の授業を受けることが、法律(※2)で定められています。

(※2) 出入国管理及び難民認定法第7条第一項第二号の基準を定める省令

■日本語・日本文化教育プログラム

Japanese Language and Culture Module (Nichibun)

日本語・日本文化に関する講義を日本語で提供します



1. 出願資格

原則として、本学入学時点で、少なくとも1年間は大学レベルの日本語学習を終えていることが必要です。

日本語が母語でないこと。

2. 提供科目

科目リスト&シラバス

<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/exchange/curriculum.html>

「日本語科目」は、学期毎に日本語能力に応じて初級前期(I)、初級後期(II)、初中級(III)、中級前期(IV)、中級後期(V)、中上級(VI)、上級前期(VII)、上級後期(VIII)、超上級(IX)の9段階のレベルに編成し、きめ細かく丁寧な指導を行います。どの学習段階から始めるかは入学前に行う日本語プレースメントテストによって決定します。

Nichibunが提供する科目は、「日本語科目」、「日本語演習科目」、「日本事情科目」、「国際事情科目」の4つの科目群に分かれています。

「日本語科目」には、《集中コース》と《選択コース》があります。

《集中コース》…各学習段階とも、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に修得する科目と、読解、文章表現、口頭表現、語彙の技能別科目から構成されています。学習段階ごとのパッケージで履修することで、効率よく反復練習し、学習の定着と能力の発展を図ります。

《選択コース》…文法、口頭表現、文章表現、読解、語彙の技能別科目のみで構成されています。数科目を自由に選択して履修することが可能です。

「日本事情科目」では、教室内での授業や学外実習を通じて、習字や生け花、茶の湯や神社の祭礼など、京都の地の利を活かした様々な日本の伝統文化を学ぶ機会を提供しています。

日本語プレースメントテストで十分な日本語能力があると判断された場合は、各学部(※1)で開講されている科目を履修することができます。ただし、日本語の学習段階により履修できる科目は異なります。また、演習科目、理工学部科目、生命医科学部科目、他学部生履修不可の科目等は履修することができません。

(※1) 在籍大学で研究科に所属する大学院生に限り、研究科で開講されている科目の一部を履修することができます。

Nichibun生のうち「第一言語が英語の外国人留学生」または「英語で行われる授業を理解できる英語能力が高い外国人留学生(CEFR B2レベル以上)」は、定員に空きがある場合に限りグローバル教育プログラム(GEM)が提供する科目を履修することができます。

3. 単位

このプログラムの単位数の基準は、1週2時間、15週をもって1単位または2単位とします。Nichibun生は、1年間で30単位(1学期間で15単位)まで履修することができます。

学部・研究科が提供する科目およびGEM科目の単位もこの中に含まれます。

また、週に最低7コマ以上(1コマ=90分)の授業を受けることが、法律(※2)で定められています。

(※2) 出入国管理及び難民認定法第7条第一項第二号の基準を定める省令

■留学期間

グローバル教育プログラム、日本語・日本文化教育プログラムの提供科目はすべてセメスター制を採用しています。春学期（4月～9月）または秋学期（9月～翌3月）のいずれの学期からでもプログラムを開始することができます。学生交換協定により定められた所定の留学期間を良好な成績で単位取得し、無事終了した者には「学修証」を授与します。

■学年暦

春学期（4月～9月）			秋学期（9月～3月）			
2025年						
4月1日（火）	春学期始め		9月15日（月）	秋学期始め		
2日（水）	新入学生履修指導期間 （履修科目登録を含む）		16日（火）	新入学生履修指導期間 （履修科目登録を含む）		
3日（木）			17日（水）			
4日（金）			18日（木）			
5日（土）			19日（金）			
6日（日）		オンデマンド授業期間 （DO Week）			20日（土）	
7日（月）					21日（日）	
8日（火）			22日（月）			
9日（水）		23日（火）				
10日（木）		24日（水）				
11日（金）	面接授業開始		25日（木）			
29日（火）	休日		26日（金）	オンデマンド授業期間 （DO Week）		
30日（水）			27日（土）			
5月1日（木）			28日（日）			
2日（金）			29日（月）			
3日（土）			30日（火）			
4日（日）			10月1日（水）		面接授業開始	
5日（月）		13日（月）	スポーツの日（授業日）			
6日（火）	振替休日（授業日）		11月1日（土）	同志社クローバー祭		
7月17日（木）	面接授業最終日		2日（日）	スポーツフェスティバル		
18日（金）	期末試験開始		2日（日）	スポーツフェスティバル		
21日（月）	海の日（試験日）		3日（月）	文化の日（授業日）		
31日（木）	期末試験終了		24日（月）	振替休日（授業日）		
8月1日（金）	期末試験予備日・夏期休暇開始		26日（水）	創立記念行事週間（休講）		
9月11日（木）	夏期休暇終了		27日（木）			
12日（金）	在学成績通知 ^{（注1）}		28日（金）			
14日（日）	春学期終り		29日（土）	創立記念日（休日）		
			12月24日（水）	冬期休暇開始		
			25日（木）	キリスト降誕日（休日）		
2026年						
			1月6日（火）	冬期休暇終了		
			7日（水）	面接授業再開		
			12日（月）	成人の日（休日）		
			19日（月）	面接授業最終日		
			20日（火）	期末試験開始		
			23日（金）	創立者永眠の日		
			2月9日（月）	期末試験終了		
			3月13日（金）	在学成績通知 ^{（注2）}		
			31日（火）	秋学期終り		

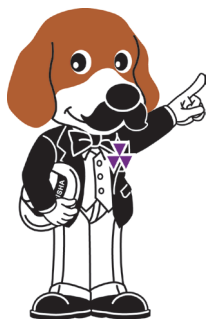
※15週目のオンデマンド授業は各学期の成績評価を終えるまでに配信される。

※交換留学生は、期末試験終了後に帰国できます。「学期終わり」まで日本に滞在する必要はありません。

※期末試験終了まで、派遣元大学に在籍する必要があります。

（注1）成績通知日以降、秋学期履修指導期間が設定される。

（注2）成績通知日以降、翌年度春学期履修指導期間が設定される。



1. 出願資格 ※詳しい出願資格については、派遣元大学に確認してください。

*グローバル教育プログラム

- (1) 学生交換協定に基づき推薦を受けた学生
- (2) 英語圏出身の留学生、もしくは英語で行われる授業へ十分に参加可能である英語能力が高い学生とします。
グローバル教育プログラムを受講するためには、最低でも英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2相当以上の能力の証明が必要です。

*日本語・日本文化教育プログラム

- (1) 学生交換協定に基づき推薦を受けた学生
- (2) 原則として、入学段階で、少なくとも1年間の大学レベルでの日本語学習を終えていることが必要です。
- (3) 日本語が母国語でないこと。

2. 出願期間

	出願提出締切日	選考期間	受入可否通知
春学期入学（4月）	10月下旬	11月～12月	12月中旬～
秋学期入学（9月）	3月下旬	4月～5月	5月下旬～

3. 出願書類 ※特に指定のある場合を除き、日本語または英語で記載された書類を提出してください。

- (1) 同志社大学交換留学プログラム願書（所定用紙3ページ）
※必ず写真を貼付してください。
- (2) 日本語能力認定証明書（所定用紙）
※日本語能力認定証明書は、必ず派遣元大学の日本語教師等、あなたの日本語を正しく判定できる人に記入を依頼してください。（日本語・日本文化教育プログラム希望の学生は提出必須。グローバル教育プログラム希望の学生は、日本語学習経験者のみ提出）
- (3) 健康診断書（所定用紙）
※「学校保健安全法」によりすべての項目について検査が必要です。
- (4) 顔写真（3ヶ月以内に撮影、カラー、4cm×3cm、正面・脱帽・背景無地、裏面に名前記入、頭・あご・両耳が枠内に入っている、前髪が目にかかっていないもの）
※スナップ写真やカラーコピー写真は受け付けません。
- (5) 派遣元大学の成績証明書（全学年・全科目、各科目の成績と単位を含むこと）
- (6) English language certificate（所定用紙）
※グローバル教育プログラム希望の学生のみ。英語を第一言語とする出願者も含む
- (7) Self-assessment of your Japanese level（所定用紙）
※グローバル教育プログラム希望の学生のみ
- (8) 宿舍申込書（所定用紙）
- (9) JASSO奨学金申請書（所定用紙）（出願資格を満たし、申し込みを希望する場合）
- (10) パスポートのコピー（顔写真と氏名等が確認できるページ）※有効期限が留学期間を満たしていること
※二重国籍等で日本国籍を保有する学生は、日本のパスポートコピーも提出してください。
※同志社大学に提出の必要はありませんが、来日後の区役所での住民登録の際に「戸籍謄本」と「附票」が必要となりますので、準備をしておいてください。
- (11) 出入国在留管理局への「在留資格認定証明書(COE)」交付申請に必要な情報（所定用紙）
※在留資格認定証明書申請のため、以下の書類が必要です。
※日本語と英語以外で発行された文書は、日本語または英語に翻訳し、大学印を押して内容に間違いがないことを証明してください。
※日本国籍を保有する留学生は、ビザの申請はせず、日本のパスポートで入国するため、これらの書類は必要ありません。
※1ヶ月最低10万円の留学資金があることを示す必要があります。

<本人が支弁する場合>

- ・銀行預金残高証明書（出願者本人名義のもの）

<奨学金または学生ローンによって経費を支弁する場合>

- ・奨学金受給または学生ローン証明書（所定用紙） ※生活費のみ（授業料・渡航費等は除く）

<親族が経費を支弁する場合>

- ・経費支弁書（所定用紙）
- ・銀行預金残高証明書（経費支弁者の名義のもの）
- ・在職証明書
- ・年収証明書

※必要書類がすべてそろっていることを確認してから、派遣元大学の担当者に提出してください。

※提出された書類は、一切返却できません。



4. 提出先

同志社大学 国際センター 留学生課 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
 TEL: +81-(0)75-251-3257
 E-MAIL: ji-incmg@mail.doshisha.ac.jp

※出願書類は、派遣元大学の留学担当者を通して、指定のOneDriveにアップロードしてください。

5. 審査過程

同志社大学留学生課にて出願書類の不備・不足が無い確認します。
 その後、グローバル教育プログラムと日本語・日本文化教育プログラムの教員による書類確認を経て、国際教養教育
 院委員会が審査し、出願者の受入可否について決定します。

6. 受入決定連絡

受入れが決定すると、入学許可書と今後のスケジュール等に関する情報を、オンラインで提供しますので、必要に応じて
 ダウンロードしてください。在留資格認定証明書 (e-COE) が発行され次第 (2月上旬~中旬予定) 皆さんに転送し、
 来日に関するさまざまな情報や寮の情報をオンラインで提供しますので、よく読んで必要な手続きを行ってください。

※留学ビザ申請のための**在留資格認定証明書 (e-COE)**について

e-COEを受取ったら、現在の居住地または母国の定住所を管轄する日本大使館 (領事館) で学生ビザの申請を行って
 ください。e-COE画面または印刷したe-COEとパスポートが必要です。

※**日本国内で留学ビザの申請はできませんので、必ず来日までに学生ビザの取得を完了してください。**

7. 来日~入学まで (入寮サポートサービス、オリエンテーションについて)

同志社大学が指定する日に入寮してください。

※日本への到着時刻によっては、到着日当日に入寮できない可能性があります。

空港や駅での出迎えサービスはありませんので、寮のしおりにある地図と住所を参考にご自身で入寮してください。

同志社大学生が入寮サポートスタッフとして、皆さんを寮で出迎え入寮のサポートをいたします。

来日後には、各寮にて「寮オリエンテーション」、プレースメントテスト (面接) や科目履修指導等があります。詳
 細は、受入決定後に案内します。

8. その他

<同志社大学への留学を希望される方>

<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/index.html>

※同志社大学 (学部正規生) で学ぶ:

https://intad.doshisha.ac.jp/intad/japanese_program/guide_entrance_exam.html

※同志社大学 (研究科正規生) で学ぶ:

https://intad.doshisha.ac.jp/intad/japanese_program/guide_entrance_exam_g.html

※英語による授業で修了できるコース (学部・研究科正規生):

https://intad.doshisha.ac.jp/intad/english_program/offered_english.html

※交換留学制度を利用する (大学間協定による交換留学プログラム):

<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/exchange/exchange.html>

グローバル教育プログラム: https://intad.doshisha.ac.jp/intad/exchange/cge_curriculum.html

日本語・日本文化教育プログラム: <https://intad.doshisha.ac.jp/intad/exchange/curriculum.html>

9. 学費

交換留学生は、基本的に学生交換協定により学費は免除されます。詳細は、派遣元大学に確認してください。

	2025年度			
	在籍期間	入学検定料	入学金	研修料
国際教養教育院	1年	¥10,000	¥25,000	¥666,000 30単位超過1単位につき ¥22,000
	1 Semester			¥333,500 15単位超過1単位につき ¥22,000

1. 奨学金

海外留学生支援制度

本学のプログラムが日本学生支援機構（JASSO）による制度に採用された場合には、学業成績の優秀な者を選考し、月額8万円×10ヶ月（最大）を支給します。給付人数や対象となる大学の国・地域は毎年度変わります。

出願方法は、別途本学から送付する申込書を記入の上、指定された締切日までに他の出願書類と一緒に提出してください。本学で選考後、本学から JASSO に推薦し、JASSO が奨学金の給付を検討・決定します。

結果は来日直前（または来日後）まで分かりません。在留資格認定証明書申請のための経費支弁として考えないでください。

2. 生活費

京都での平均生活費は、住居費を含めて少なくとも月間 10 万円以上必要です。

半年間および 1 年間の滞在資金を計画する際は、この金額を十分念頭においてください。

3. 寮

本学が学生寮を用意します。もし、自分で住居を探したい等、学生寮が不要であれば寮申請書内の「不要」に✓を入れてください。

4. 国民健康保険（加入義務、住居地の役所にて加入）

国民健康保険は、みなさんが病気やけがをしたとき、安心して医療を受けられるよう設けられた市町村が運営している健康保険制度のひとつです。3ヶ月を超えて日本に在留するすべての外国人は国民健康保険に加入することが義務づけられています。保険料の支払いが必要ですが、医療機関で受診した際、保険証を提示すれば、健康保険法の適用範囲内の医療であれば、医療費総額の30%を支払うだけですみます。

※保険料の減額

保険料は地域によって異なりますが、外国人留学生は通常、保険料が70%減額されます。（ただし、住居地の役所に日本で昨年度の所得がないことを申告しないと減額されません）この結果、京都市の場合、外国人留学生の保険料は年額17,259円（2023年度実績）となります。

5. 外国人留学生ハンドブック

<https://ois.doshisha.ac.jp/support/consultation.html#handbook>

外国人留学生が同志社大学で学ぶ上で、必要最低限の情報をこのハンドブックで紹介しています。

ハンドブックは、交換留学生の来日後に配布します。

6. 留学生課からのお知らせ

受入れを担当する留学生課では、国際交流イベントや京都・同志社大学の紹介等、外国人留学生や本学への留学をお考えの皆さんの役に立つ情報を提供しています。是非ご覧ください。

留学生課 Web ページ

<https://ois.doshisha.ac.jp/>



留学生課 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCIEVMaJUmt6al9x3tTR1XeQ>



国際交流イベント

書道
Calligraphy



国際交流ラウンジ
International Lounge
国際交流吧
국제교류라운지

鞍馬山登山
Climbing Mt. Kurama



能から日本を考える
Noh? Nippon??



座禅
Zen Meditation



SIED



SIED 今出川キャンパス / Imadegawa Campus



SIED 京田辺キャンパス / Kyotanabe Campus

SIED シード (Student Staff for Intercultural Events at Doshisha)
学生が主体となり国際交流イベントを企画・実施するための組織です。

「留学生と日本人学生と一緒に参加できるイベントをたくさん企画していますので、是非参加してください。いろいろな国からの友達をたくさん作って、楽しい交換留学生活を送ってください。」
SIEDより



DOSHISHA-SIED



SIED
Web Page



交換留学生の留学体験記

同志社の扉を開いて世界を広げた

N.R (出身：タイ)

夢の国といえば、日本を思い浮かべた人が少なくないだろうと思います。私もその中の一人です。私は高校のときから日本語の勉強を始め、大学のときもまた勉強し続けています。そして、ある日、来日のチャンスが訪れました。日本の文学や文化に興味を持っている私は、日本の文化が豊かな古都である京都に行こうと思って、100年以上の歴史もある同志社大学に決めました。

その初秋に、夢を抱いている私は台風とともに来日して、忘れられない物語がこれで始まりました。最初に来た頃、勉強のことや人間関係のことで緊張したり、心配したりしながら楽しみにしているその新鮮な気持ちはまだ覚えています。同志社に初めて入ったときに、優雅な建物を眺めながら「ここが私のこれからの一年間の居場所なのか」と考えて、できる限り日本語能力を上達させたいという目標を目指しました。同志社には、日本語を専門にしている先生の方々が教える日本文化・日本社会という日本事情の科目も様々あります。学生は、日本語を洗練させてもらいながら、自分の興味を超えて習うことができます。また、京都にいるからこそ、日本文化に接する機会が多いです。この間、私は好きな茶道教室をはじめ、お花見やお祭りなどを通じて日本文化を学び、心に日本の「和」を少しずつ吸収してきました。

それだけではなく、今回の留学のおかげで私の世界が広がりました。ここで様々な国の人たちと出会い、友達になりました。私たちは、紅葉の橙色で彩られた秋、真っ白の雪で心を和ませた冬、桜の美しく咲いている春、そして、蛍が輝いていた夏を越え、一緒に勉強を努力したり、お互いの国々の文化を楽しく分かり合ったりして、いい思い出をたくさん作りました。

帰国した今の自分から省みると、この一年間はあっという間のようなのですが、人生いろいろを満喫できた素敵な時間だと思います。皆さんも機会があれば日本、また同志社の扉を開いて夢を追いかけて留学に来ませんか。ここで「一期一会」をもって出会った人々と時間を大切にして、留学生活を楽しんだらいかがですか。

●北中南米 North, Central & South America

アルゼンチン Argentina (1)	トルキエアト・ディ・テラ大学	Universidad Torcuato di Tella
カナダ Canada (6)	ビショップス大学 レイクヘッド大学 ロイヤルローズ大学 ブリティッシュ・コロンビア大学 モントリオール大学文理学部 ビクトリア大学	Bishop's University Lakehead University Royal Roads University The University of British Columbia Faculty of Arts and Science, Université de Montréal University of Victoria
チリ Chile (1)	チリ・カトリカ大学	Pontificia Universidad Católica de Chile
メキシコ Mexico (1)	ラス・アメリカス大学	Universidad de las Américas, Puebla
アメリカ U.S.A. (23)	アーカンソー工科大学 エンブリー・リドル航空大学 カラマズ大学 リンフィールド大学 ミリキン大学 マレー州立大学 ポートランド州立大学 ロチェスター工科大学 サルベ・レジーナ大学 サンディエゴ州立大学 セント・メアリーズ大学 カリフォルニア大学 コロラド大学ボルダー校 デンバー大学 ハワイ大学ヒロ校 ハワイ大学マノア校 ミズーリ大学 モンタナ大学 ネブラスカ大学カーニー校 ニューオーリンズ大学 ノースカロライナ大学シャーロット校 ユタ大学 ウエスタンミシガン大学	Arkansas Tech University Embry-Riddle Aeronautical University Kalamazoo College Linfield University Millikin University Murray State University Portland State University Rochester Institute of Technology Salve Regina University San Diego State University St. Mary's University University of California University of Colorado Boulder University of Denver The University of Hawai'i at Hilo The University of Hawai'i at Mānoa University of Missouri The University of Montana University of Nebraska at Kearney The University of New Orleans The University of North Carolina at Charlotte The University of Utah Western Michigan University

●ヨーロッパ Europe

アゼルバイジャン Azerbaijan (1)	ハザール大学	Khazar University
ベルギー Belgium (2)	トマスモア応用科学大学 ブリュッセル自由大学	Thomas More University of Applied Sciences The Universite Libre de Bruxelles
チェコ Czech Republic (3)	カレル大学 マサリク大学 西ボヘミア大学	Charles University Masaryk University University of West Bohemia
デンマーク Denmark (1)	オーフス大学	Aarhus University
フィンランド Finland (3)	イースタン・フィンランド大学 ヘルシンキ大学 タンペレ大学	University of Eastern Finland University of Helsinki Tampere University
フランス France (10)	エクス・マルセイユ大学 エクセリア・グループ リヨン政治学院 レンヌ政治学院 サンジェルマン・アン・レー政治学院 国立東洋言語文化大学 パリ政治学院 ソルボンヌ大学 パリ大学-ナンテール ストラスブール大学	Aix-Marseille Université Excelia Group Institut d'Etudes Politiques de Lyon Institut d'Etudes Politiques de Rennes Institut d'Etudes Politiques de Saint-Germain-en-Laye, L' Institut National des Langues et Civilisations Orientales (INALCO) Sciences Po Sorbonne Université Université Paris Nanterre Université de Strasbourg
ドイツ Germany (6)	テュービンゲン大学 デュッセルドルフ大学 マインツ大学 フランクフルト大学 ミュンヘン大学文化学部 オスナブルック大学	Eberhard-Karls-Universität Tübingen Heinrich Heine University Düsseldorf Johannes Gutenberg-Universität Mainz Johann Wolfgang Goethe-Universität Frankfurt Am Main Fakultät für Kulturwissenschaften, Ludwig-Maximilians-Universität München Osnabrueck University
ハンガリー Hungary (2)	エトヴェシュ・ロラード大学 ペーチ大学	Eötvös Loránd University University of Pécs
アイルランド Ireland (1)	ダブリン・シティ大学人文社会科学部	Faculty of Humanities and Social Sciences, Dublin City University
イタリア Italy (5)	ボローニャ大学 ローマ大学 ヴェネツィア大学 ミラノ大学 トリノ大学	Alma Mater Studiorum Università di Bologna Sapienza - Università di Roma Università Ca' Foscari Venezia Università degli Studi di Milano Università di Torino
リトアニア Lithuania (1)	ヴィータウタス・マグナス大学	Vytautas Magnus University
オランダ Netherlands (2)	ハーグ応用科学大学 ライデン大学	The Hague University of Applied Sciences Universiteit Leiden
ノルウェー Norway (2)	ベルゲン大学 オスロ大学	University of Bergen University of Oslo
ポーランド Poland (2)	ヤギェウォ大学 ワルシャワ大学	Jagiellonian University Uniwersytet Warszawski (University of Warsaw)
ルーマニア Romania (1)	ブカレスト大学	The University of Bucharest
ロシア Russia (1)	サンクトペテルブルク経済大学	Saint Petersburg State University of Economics
スペイン Spain (4)	サラマンカ大学 サン・アントニオ・ムルシア・カトリック大学 バルセロナ自治大学 ポンペウファブラ大学	Universidad de Salamanca Universidad Católica San Antonio de Murcia Universitat Autònoma de Barcelona Universitat Pompeu Fabra
スウェーデン Sweden (1)	ヨーテボリ大学経済商法学部	School of Business, Economics and Law, University of Gothenburg
スイス Switzerland (2)	ルツェルン大学 チューリヒ大学	Universität Luzern Universität Zürich
イギリス U.K. (6)	ロンドン大学(SOAS) エディンバラ大学 マンチェスター大学 リーズ大学 シェフィールド大学 ウォーリック大学	School of Oriental and African Studies (SOAS) - University of London The University of Edinburgh The University of Manchester University of Leeds The University of Sheffield The University of Warwick

●アジア & オセアニア Asia & Oceania

オーストラリア Australia (10)	チャールズ・ダーウィン大学 ディーキン大学 マッコーリー大学 マードック大学 メルボルン大学 ニューイングランド大学 ニュー・サウス・ウェールズ大学 シドニー大学 サンシャイン・コースト大学 ウーロンゴン大学	Charles Darwin University Deakin University Macquarie University Murdoch University The University of Melbourne University of New England The University of New South Wales The University of Sydney University of the Sunshine Coast University of Wollongong
中国(香港含む) China (19)	北京師範大学 香港中文大学 重慶郵電大学 香港城市大学 香港教育大学 復旦大学 吉林大学 暨南大学 嶺南大学 東北師範大学 西北大学 北京大学歴史学部 中国人民大学 四川大学 天津外国語大学 清華大学 武漢大学 西安交通大学 浙江農林大学	Beijing Normal University The Chinese University of Hong Kong Chongqing University of Posts and Telecommunications City University of Hong Kong The Education University of Hong Kong Fudan University Jilin University Jinan University Lingnan University Northeast Normal University Northwest University Department of History, Peking University Renmin University of China Sichuan University Tianjin Foreign Studies University Tsinghua University Wuhan University Xi'an Jiaotong University Zhejiang A & F University
インドネシア Indonesia (1)	ガジャマダ大学	Universitas Gadjah Mada
韓国 Korea (10)	全南大学 梨花女子大学 韓国外国語大学 仁川大学 高麗大学 ソウル大学 ソウル女子大学 ソウル市立大学 嶺南大学 延世大学	Chonnam National University Ewha Womans University Hankuk University of Foreign Studies Incheon National University Korea University Seoul National University Seoul Women's University University of Seoul Yeungnam University Yonsei University
マレーシア Malaysia (3)	マレーシア国際イスラーム大学 マレーシア科学大学 マラヤ大学	International Islamic University Malaysia Universiti Sains Malaysia University of Malaya
ニュージーランド New Zealand (1)	ヴェリントン・ビクトリア大学	Victoria University of Wellington
フィリピン Philippines (3)	アテネオ・デ・マニラ大学 デラサール大学 フィリピン大学ディリマン校	Ateneo de Manila University De La Salle University University of the Philippines Diliman
台湾 Taiwan (8)	中国文化大学 輔仁大学 国立政治大学 国立台湾師範大学 国立台湾大学 静宜大学 東呉大学 淡江大学	Chinese Culture University Fu Jen Catholic University National Chengchi University National Taiwan Normal University National Taiwan University Providence University Soochow University Tamkang University
タイ Thailand (3)	チュラロンコン大学 パヤップ大学 タマサート大学	Chulalongkorn University Payap University Thammasat University
ベトナム Viet Nam (1)	ハノイ工科大学	Hanoi University of Science and Technology

●アフリカ & 中近東 Africa & Middle East

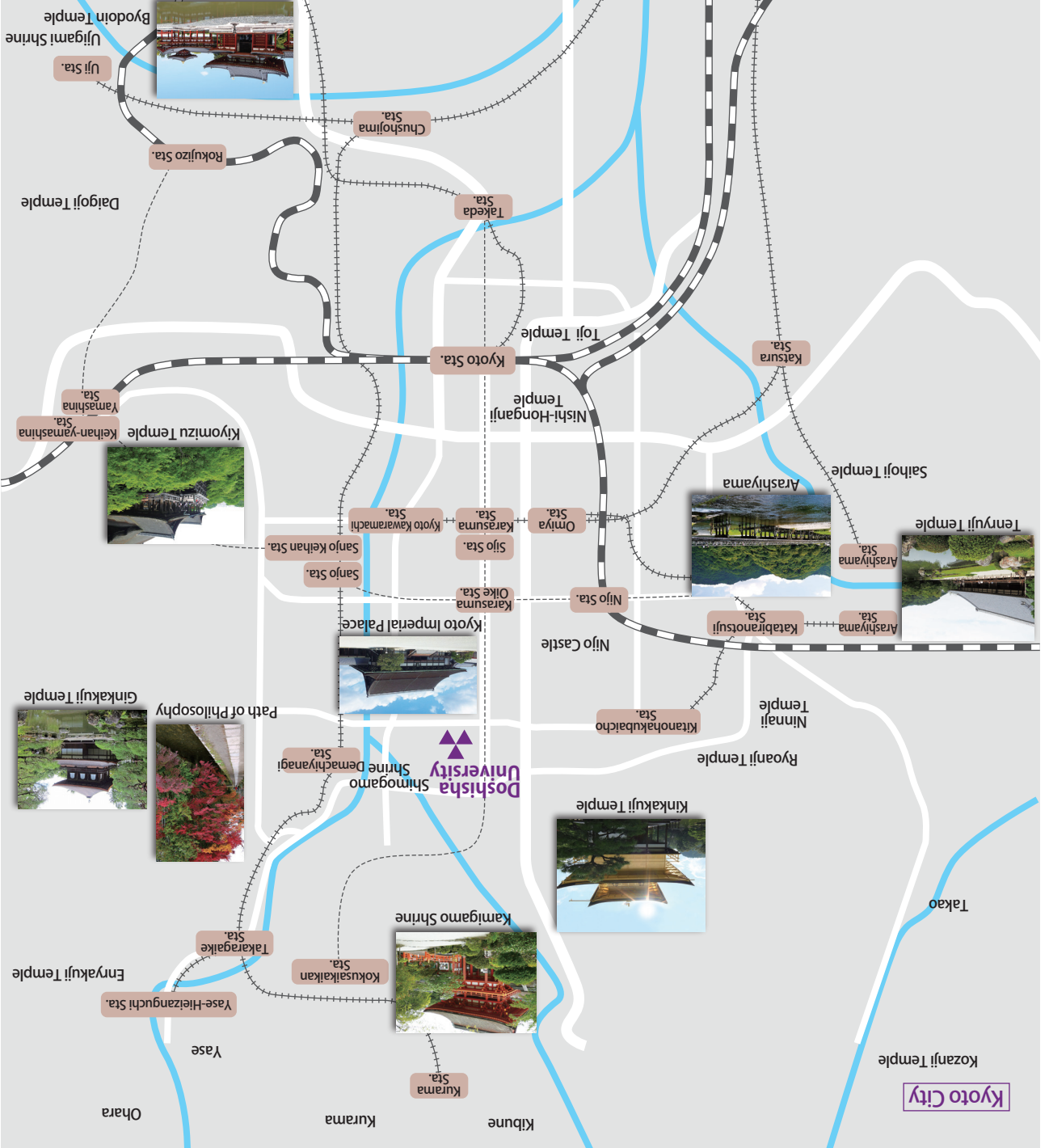
イスラエル Israel (1)	ヘブライ大学	The Hebrew University of Jerusalem
トルコ Turkey (2)	中東工科大学 サバンチ大学	Middle East Technical University Sabanci University

37カ国150校(受入可能 大学間協定校) 2024年12月4日現在

University-level, Exchange students from 150 partner institutions in 37 countries as of December 4, 2024



Experience of the exchange program



A Year Spent at Doshisha University: The Best Year

R.W (from the States)

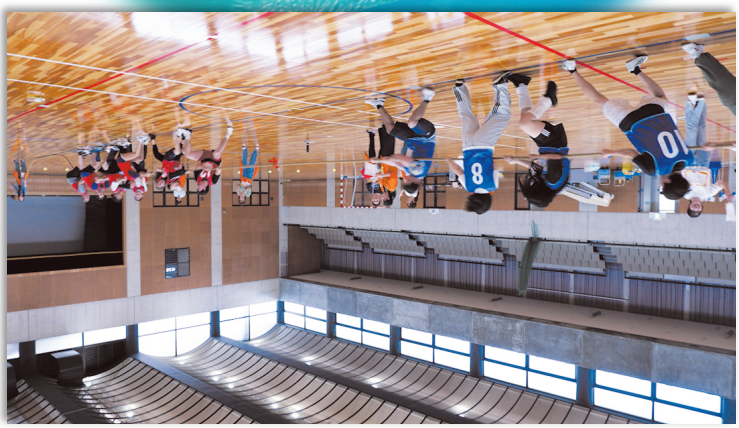
Since I can remember I have dreamed of spending time in Japan, immersing myself in the culture and studying the language. After studying abroad at Doshisha University I can say that this dream has finally been realized to the fullest extent. My year spent at Doshisha was, by far, the most amazing year of my life thus far. It was everything I was hoping it would be and more, and that is largely due to the amazing exchange program that Doshisha has created. The language classes were engaging, effective, and the teachers were incredible and truly cared about my success and growth. There were also a multitude of other classes available that were equally captivating, ranging from classes on Japanese religion to food culture in Japan. Furthermore, the amazing people at the Office of International Students were very active in making sure that we were comfortable and getting the most out of our experience; organizing immersion events and always available to talk in case we ran into any problems or had any concerns.

The Kyoto lifestyle that comes along with studying abroad at Doshisha was also paragon. My commute entailed a short bike ride through one of the oldest, most picturesque, and most iconic Buddhist temples in Japan. Grocery shopping was always fun and easy; eating out was also a pleasure due to the ubiquity of delicious restaurants found everywhere from Kyoto's bustling downtown area to the back alleys of quiet suburban neighborhoods. The type of open-minded, intelligent, friendly, and enthusiastic international students that Doshisha attracts also made this cross-cultural experience one of the best experiences of my life to date, and I now have lifelong friends from all over the globe. If I could spend another year studying abroad at Doshisha University, I would in a heartbeat.

Intercultural Events



Kabuki! Workshop 歌舞伎ワークショップ



Sports Event -Tug of War- 大運動会-綱引き



Osaka Aquarium Kaiyukan 海遊館



Uji-city Walking 宇治散策



Lunch Talk ランチトーク



SIED Imadegawa Campus / 今出川キャンパス



SIED Kyotanabe Campus / 京田辺キャンパス

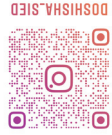
SIED (Student Staff for Intercultural Events at Doshisha) Student organization for make plans and manages various intercultural events. "We plan lots of events for International students and Japanese students to get together. Please join our events and make lots of friends from all over the world." From SIED



SIED Web Page



X



Instagram

DOSHISHA.SIED

1. Scholarship

JASSO International Student Scholarship for Short-term Study in Japan

The scholarship offered by JASSO (Japanese Student Services Organization) might be available for those who have outstanding academic records. Exchange students will be provided 80,000 yen per month up to 10 months. Number of grantees may be subject to change.

To apply for the Scholarship, please fill in the required form and submit it along with other application materials to the Office of International Students by the given deadline. We will select qualified applicants and recommend to JASSO who will make the final decision upon the scholarship applications.

The result will be announced just before your arrival in Japan (or after your arrival), so you can not count on this scholarship as your financial support for applying for Certificate of Eligibility.

2. Living Expenses

The average monthly living expenses in Kyoto are approximately 100,000 yen per month.

Before applying for the exchange program, it is important to make sure you have sufficient funds available.

3. Dormitory

We will provide off campus dormitory to exchange students. In case that students wish to look for their own places, please be sure to ✓ in the "Not Required" box in the Accommodation application form.

4. The National Health Insurance (Obligation)

The National Health Insurance designed to meet some of the costs of medical treatment for illness and injury, allowing subscribers to seek medical care free from financial concerns. All international students residing in Japan for more than 3 months are required to enroll in the insurance. Students must pay insurance premiums, but are then only required to pay 30% of actual expenses incurred at medical care facilities by showing health insurance card.

※Reduction of insurance premium

Though the premium insurance differs in some communities, the National health insurance usually covers up to 70% of medical expenses for international students with no income. (It will be determined on an annual basis. Students are required to report that you have no income in Japan in the previous year to your local ward or city office.)

For international students residing in Kyoto, the annual fee for the National Health Insurance was 17,259 yen in 2023.

5. Handbook for International Students

<https://ois.doshisha.ac.jp/en/support/consultation.html>

The Handbook for International Students provides basic information regarding student's life in Japan. The handbook will be distributed during the orientation session for new international students.

6. Information from OIS

OIS(Office of International Students) in charge of incoming students offers useful information such as intercultural events, introduction about Kyoto or Doshisha University and so on for international students and students who are interested in our exchange program. Please visit the following web pages.



OIS Web Page
<https://ois.doshisha.ac.jp/en/index.html>



OIS YouTube Channel
<https://www.youtube.com/channel/UCIEVMaUmt6al9x3tTR1XeQ>



4. Applications submitted to:

Office of International Students, International Center
Doshisha University

Imadagawa-dori Karasuma-Higashi-iru, Kamigyo-ku, Kyoto, 602-8580, Japan

TEL: +81-(0)75-251-3257

E-MAIL:ji-incmg@mail.doshisha.ac.jp

※Application documents should be uploaded to the designated OneDrive through the program coordinator at your home university.

5. After the submission

The Office of International Students will first review all documents to ensure that your application is complete. After the documents are reviewed by GEM and Nichibun faculty members, the Committee of the Center for Global Education and Japanese Studies will review and decide whether or not to accept the applicants.

6. After being admitted

Upon acceptance, we will provide you with an acceptance letter and information about your upcoming schedule online, which you can download if necessary. When your Certificate of Eligibility (e-COE) will be forwarded to you as soon as it is issued (would be early-mid Feb), and various information regarding your arrival in Japan and your dormitory will be provided online.

※e-COE for College Student Visa Application

After receiving the e-COE, please apply for a student visa at the Japanese embassy/consulate with jurisdiction over your current residence or permanent residence in your home country. e-COE screen or printed e-COE and your passport are required.

※You cannot apply for a student visa in Japan, so please be sure to obtain your student visa on your passport before coming to Japan.

7. Arrival ~ Admission

(Move-in Support Service / Orientation)

You are requested to move into your dormitory on the date specified by Doshisha University.

There is no pick-up service at the airport or train station, so please use the map and address in the dormitory guide and move into your dormitory by yourself.

Doshisha University students will meet you at the dormitory as support staff and assist you when you move in the dormitory.

8. Others

<Doshisha University prospective students >
<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/index.html>

※Degree Program (Undergraduate, regular student):

https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/admissions/guide_entrance_exam.html

※Degree Program (Graduate, regular student):

https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/admissions/guide_entrance_exam_g.html

※Courses that can be completed in English (Undergraduate & Graduate, regular student):

<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/exchange/guidance.html>

Global Education Module:

https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/exchange/cge_curriculum.html

Japanese Language and Culture Module:

<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/exchange/curriculum.html>

9. Tuition Fees

Exchange students are exempt from tuition fees under the agreement. Please contact your home institutions for further information.

2025 Academic year		Center for Global Education and Japanese Studies	
Enrollment period	Application Fee	Admission Fee	Tuition
1 year	¥ 10,000	¥ 25,000	per on credit / more than 30 ¥ 22,000
1 semester			per on credit / more than 15 ¥ 22,000



1. Qualification

* Please ask details about requirements to your home institution.

* Global Education Module (GEM)

- (1) Students who receive official nomination based on the exchange agreement.
- (2) Students who come from English-speaking countries or whose English is proficient enough to attend class.

The GEM program requires above B2 Level in CEFR in English.

* Japanese Language and Culture Module (Nichibun)

- (1) Students who receive official nomination based on the exchange agreement.
- (2) In principle, applicants are required to have a minimum of one year's study of Japanese at the college level prior to the enrollment at Doshisha University.
- (3) Japanese is not the native language.

2. Application Period

Submission Deadline	Selection Period	Notification of Result
Spring semester (April)	late October	December
Fall semester (September)	late March	May
		Late May

3. Documents to be submitted

* All documents must be written in either Japanese or English in principal.

- (1) Prescribed application form for the exchange program at Doshisha University (3pages)

* A photo must be affixed to your application

(2) Prescribed "Proficiency in Japanese"

* This form should be filled out someone who can assess your Japanese proficiency professionally such as a Japanese language instructor at your home university. (Mandatory for students who would like to apply for the Japanese Language and Culture Module. Students who would like to apply for the Global Education module and have experience of studying Japanese language need to submit.

(3) Prescribed "Health Certificate"

* According to Japan's "School Health and Safety Law", inspections are required for all items.

(4) ID photo (Taken within the last 3 months, color, 4cm×3cm, facing forward, without any fashion head covering, against a plain background. Write your name on back of each photo. Do not have your hair in front of your eyes.)

* Color copied photos are unacceptable.

(5) Academic transcript issued by your home institution which shows all subjects and its grade at your current institution

(6) Prescribed "English Language Certificate issued by partner universities" form (Only for students who would like to apply to the Global Education Module. English native speakers also need to submit this certificate.)

(7) Prescribed "Self-assessment of your Japanese level" form (Only for students who would like to apply to the Global Education Module.)

(8) Prescribed "Accommodation application form"

(9) Prescribed "Application form of JASSO scholarship" (Eligible candidates only)

(10) A copy of your passport (The page containing your name and photo)

* It must cover entire period of your study abroad.

* Applicants who hold dual citizenship in Japanese, please also submit a copy of Japanese passport.

* You don't need to submit these documents to Doshisha University, but please be prepared for the fact that you will need a copy of your "Family Register" and a "Supplementary Copy" when you register as a resident at the ward office after you arrive in Japan.

(11) Prescribed "Information for the Certificate of Eligibility (CoE) application to the Immigration Office" form

* The following documents are necessary to apply for a "Certificate of Eligibility" (living expenses: at least 100,000JPY/month)

* Documents written in other than Japanese or English need to be translated to either language and get your home institution's stamp as a proof of authenticity of the document

* Japanese citizenship holders do not need to apply for a visa to come to Japan, so there is no need to prepare the following documents.

<Expenses paid by the applicant>

Bank account balance statement in your name

<Expenses paid through scholarship/grant or student loan>

Prescribed "Certificate of scholarship/student loan" form * living expenses only (excluding tuition fee, travel expenses)

>Expenses paid by the applicant's family members, or relatives>

Prescribed form for "Statement of Expenses Payment" filled out by the guarantor

Bank account balance statement of the guarantor

Certificate of Employment of the guarantor

Certificate of Yearly Income of the guarantor

* Once all documents are ready, please submit them to the office which handles study abroad at your home institution.

* The submitted documents are not returnable.



※On-demand classes for the 1st week will be delivered by the end of each semester's grading.
 ※Exchange students can leave after the Final Examination.
 ※You don't need to stay in Japan until the "End of Semester."
 ※All the students need to be registered as a student officially at your home institution until the end of your examinations.
 *1 The course guidance period for the fall semester will be set after the grade notification date.
 *2 The course guidance period for the spring semester of the following academic year will be set after the grade notification date.

2025			2026				
Spring Semester (April – September)			Fall Semester (September – March)				
April	1	Tuesday	Start of Spring Semester	September	15	Monday	Start of Fall Semester
	2	Wednesday	Orientation for New Students (Including Course Registration)		16	Tuesday	On-demand instruction period (DO Week)
	3	Thursday			17	Wednesday	
	4	Friday			18	Thursday	
	5	Saturday			19	Friday	
	6	Sunday			20	Saturday	
	7	Monday			21	Sunday	
	8	Tuesday			22	Monday	
	9	Wednesday		23	Tuesday		
	10	Thursday		24	Wednesday		
	11	Friday	Face-to-face classes begin	25	Thursday		
May	1	Thursday	Holidays	26	Friday		
	2	Friday			27	Saturday	
	3	Saturday			28	Sunday	
	4	Sunday			29	Monday	
	5	Monday			30	Tuesday	
	6	Tuesday					
	7	Wednesday					
July	17	Thursday	Last Day of face-to-face classes				
	18	Friday	Final Examinations begin				
	21	Monday	Marine Day (examinations held)				
	31	Thursday	Final Examinations end				
August	1	Friday	Spare day for Final Examination				
	11	Thursday	Summer Recess ends				
	12	Friday	Grade Notification *1				
	14	Sunday	End of Spring Semester				
December	24	Wednesday	Winter Recess begins				
	25	Thursday	Christmas Day (University holiday)				
January	6	Tuesday	Winter Recess ends				
	7	Wednesday	Face-to-face classes recommence				
	12	Monday	Coming of Age Day (no classes)				
	19	Monday	Last Day of face-to-face classes				
	20	Tuesday	Final Examinations begin				
	23	Friday	Founder's Day				
	9	Monday	Final Examinations end				
February	13	Friday	Grade Notification *2				
	31	Tuesday	End of Fall Semester				

Academic Calendar

Period of the Exchange Program

All courses offered in the Global Education Module and the Japanese Language and Culture Module are offered on a semester system.
 Students are able to enroll in the exchange program in either Spring semester (April – September) or Fall semester (September – March).



Japanese Language and Culture Module (Nichibun) Courses of Japanese Language and Culture are offered in Japanese



1. Requirements

In principle, the applicants have at least one year's study of Japanese language at college level prior to start the program at Doshisha University. Japanese is not the native language. (GEM) only if there is an available space in the course.

2. Courses

List of courses and syllabi <https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/exchange/curriculum.html>

"Japanese language courses" are divided into 9 different levels: elementary (I), upper elementary (II), pre-intermediate (III), intermediate (IV), upper intermediate (V), pre-advanced (VI), advanced (VII), upper advanced (VIII) and high advanced (IX). Class allocations will be made on the basis of the Japanese Language Placement Test.

Nichibun offers "Japanese Language Courses", "Japanese Language Seminars", "Lecture Courses in Japanese Studies" and "Lecture Courses in International Studies"

There are two courses, "Intensive Course" and "Elective Course." "Intensive Course" ... It is designed to develop four basic skills of listening, speaking, reading and writing. It also offers the courses that are specifically designed to improve reading comprehension, written expressions, oral expressions and vocabulary. Taking intensive course at a designated level as a whole package allows students to have a repetition practice efficiently and to improve their learning retention and Japanese ability. "Elective Course" ... It consists of courses that are specifically designed to improve grammar, oral expressions, written expressions, reading comprehension and vocabulary and you can choose several courses whichever you like.

"Lecture courses in Japanese studies" offers opportunity to learn Japanese traditional cultures such as calligraphy, flower arrangement, tea ceremony and Shrine festivals through classes and off-campus learning by making excellent use of our location in Kyoto. Students who are placed on a certain level or above as a result of the Japanese Language Placement Test, will be allowed to take courses for undergraduate*1 programs within the terms and conditions. However, seminar courses, courses offered by Faculty of Science and Engineering and Faculty of Life and Medical Sciences and specialized courses are only open to regular students. *1 Only students those who are in graduate courses at home Institutes are allowed to take some of the classes for graduate programs.

Nichibun students whose first language is English or whose English is good enough to attend a class instructed in English (B2 level or higher in CEFR in English from students whose first language is not English) are eligible to take courses offered by Global Education Module (GEM) only if there is an available space in the course.

3. Credits

Nichibun considers a course that meets for two hours, once a week (x15 weeks) as one or two credits. The maximum course load for Nichibun-students is 30 credits for one year (15 credits per semester). Credits of taking undergraduate or graduate courses and GEM courses are also included in the maximum course credit load. Students should take more than 7 classes (1 class=90 minutes) at least per week. It is prescribed by law*2. *2 Ministerial Ordinance to Provide for Criteria Pursuant to Article 7. Paragraph (1), item (iii) of the Immigration Control and Refugee Recognition Act.

Global Education Module (GEM)
 Courses of Japanese Culture, Society, and Nature are offered
 in English



1. Requirements

Students whose first language is English or whose English is good enough to attend class are eligible for this course. GEM requires B2 level or higher in CEFR in English from students whose first language is not English.

2. Courses

GEM offers inter-disciplinary courses all conducted in English, designed for exchange students as well as Doshisha students to foster a better understanding of Japan in a global context. GEM provides learning opportunities in different fields ranging from the humanities and social sciences to the natural and human sciences.

By studying together in a small and interactive class, exchange students and Doshisha students can have more opportunities to have meaningful contact with one another, and benefit from the diversity of perspectives that are represented and shared in the classroom. In this way, GEM offers a unique space for academic collaboration between exchange students and Doshisha students that is intended to foster a dynamic academic environment.

GEM students from English-speaking countries, or whose English proficiency proves equivalent to a native-speaker may also enroll in courses offered by The Institute for the Liberal Arts (ILA) after consideration (up to 3 courses). ILA courses are also conducted in English at a native level and focus mainly on Japanese culture and society. However, requests to register for ILA courses may not always be granted as many ILA courses have limited space for enrollment.

GEM students are also permitted to enroll in some courses offered by Japanese Language and Culture Module (Nichibun) in accordance with their Japanese proficiency (up to 3 courses). To take the Nichibun courses, students must take Japanese Language Placement Test. Japanese language courses are divided into 10 levels (Basic, Elementary level I – High Advanced level IX) based on student's Japanese ability and designed to improve four basic skills of listening, speaking, reading and writing in a balanced manner.

If Japanese Language Placement Test proves your Japanese proficiency sufficient for the courses for undergraduate students*1, you may take courses from an undergraduate subject area. Courses that are available vary depending on each student's Japanese level. Also note that there are the courses that cannot be taken by GEM students. Such include seminar courses, subjects offered by Faculty of Science and Engineering and Faculty of Life and Medical Sciences, and subjects not open to other faculty students. GEM students may take up to 3 courses in total, courses offered by each faculty and the Nichibun.

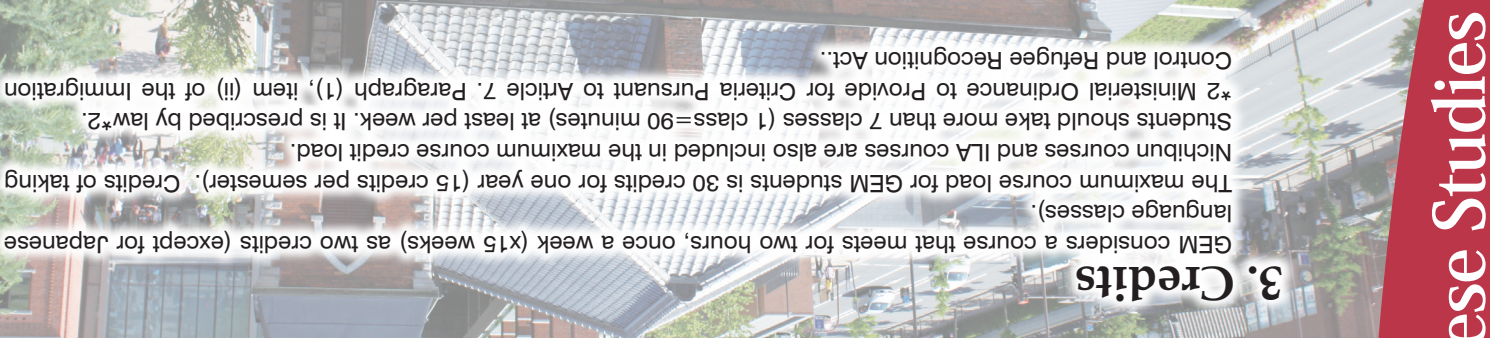
*1 Only those who enroll in graduate school at their home university may take some of the courses offered by graduate schools.

3. Credits

GEM considers a course that meets for two hours, once a week (x15 weeks) as two credits (except for Japanese language classes).

The maximum course load for GEM students is 30 credits for one year (15 credits per semester). Credits of taking Nichibun courses and ILA courses are also included in the maximum course credit load.

*2 Ministerial Ordinance to Provide for Criteria Pursuant to Article 7. Paragraph (1), item (ii) of the Immigration Control and Refugee Recognition Act.



My dear friend,

Thank you very much indeed for your interest in Doshisha University. This time, we introduce the Global Education Module (GEM) and the Japanese Language and Culture Module (Nichibun). In addition to the Center for Global Education and Japanese Studies, which offers GEM and Nichibun, our university consists of 14 faculties, 16 graduate schools, and 1 institute. Approximately 29,000 students study at our university. And there are about 1,400 international students from all over the world.

Why don't you join us?

Doshisha University, established in 1875, is one of the oldest universities in Asia. It is located in Kyoto, an internationally celebrated cultural area in Japan, with a lot of historic buildings and traditional events. If in Kyoto, I believe that you can see and experience Japanese traditional culture which is difficult to see nowadays in other areas in Japan. We assure you that you could not fail to enjoy your academic life at Doshisha University and in Kyoto. There is an excellent program of Japanese language and culture for international students while English-taught modules are generously available to you as well. Last but not least, we are proud of our international student support system whose main concern is always how to give a comfortable campus life to you. We look forward to talking with you on our beautiful campuses.

With our best wishes,

Professor KIHARA Katsunobu

Executive Dean, Organization for the Promotion of Global Cooperation



Harris Science Hall



Shoelkan



Ryoshinkan



Shikokan



the capital of 1000 years

Where is Kyoto?

Kyoto is on the central part of the island of Honshu (500km from Tokyo), nearby Osaka, Hyogo, Nara, Shiga, Fukui and Mie prefectures in Japan, and a major part of the Osaka-Kobe-Kyoto metropolitan area. The beautiful city is known for the capital of Japan and the residence of the Emperor for over a thousand years, from 794 until the Meiji Restoration in 1868 when the capital was moved to Tokyo. Also known as 'the cultural heart of Japan', with temples, shrines and traditional wooden houses, its cultural and historical heritages have been attracting many tourists from all over the world. The city is also home to the headquarters of world famous companies leading Japanese industries.



Where is Doshisha University?

Doshisha University, founded as Doshisha Eigakko (Doshisha Academy) in 1875 by Joseph Hardy Neesima, the first Japanese citizen to have obtained an academic degree at a higher education institution (Amherst College) in Europe and the United States, is renowned as one of the most highly esteemed education institutions with the longest history and tradition in Japan. The Imadegawa campus is located in the heart of Kyoto city, north of the Kyoto Imperial Palace ('Kyoto Goshu') and just in front of famous Shokoku-ji temple, Imadegawa campus is the birth place of Doshisha University and itself a historic landmark for over 147 years. The Imadegawa campus consists of 5 important cultural assets and 2 registered tangible cultural properties, are used for lectures and services. The Kyotanabe campus is located in the most advanced research facilities and equipment. Doshisha University provides education based on Christian principle, liberalism and internationalism as the three pillars of its ideal visions for higher education in the tradition and newest environments.

Doshisha University has 14 Faculties, 16 Graduate Schools, The Institute for the Liberal Arts, the Center for Global Education and Japanese studies, and it currently accommodates as many as nearly 29,000 students, including about 1,400 international students from around the globe in 2024. (It used to be about 2,300 international students before COVID-19 pandemic) Also, increasing number of academic agreements with overseas institutions.

<http://www.doshisha.ac.jp/en/>

同志社大学



The Invitation to Doshisha University

Guide for the Exchange Program 2025 ▶ 2026

KYOTO

Spread the wings of your imagination and step outward

KYOTO Japan

Doshisha University

